

# がん幹細胞を用いる制がん剤のスクリーニング方法

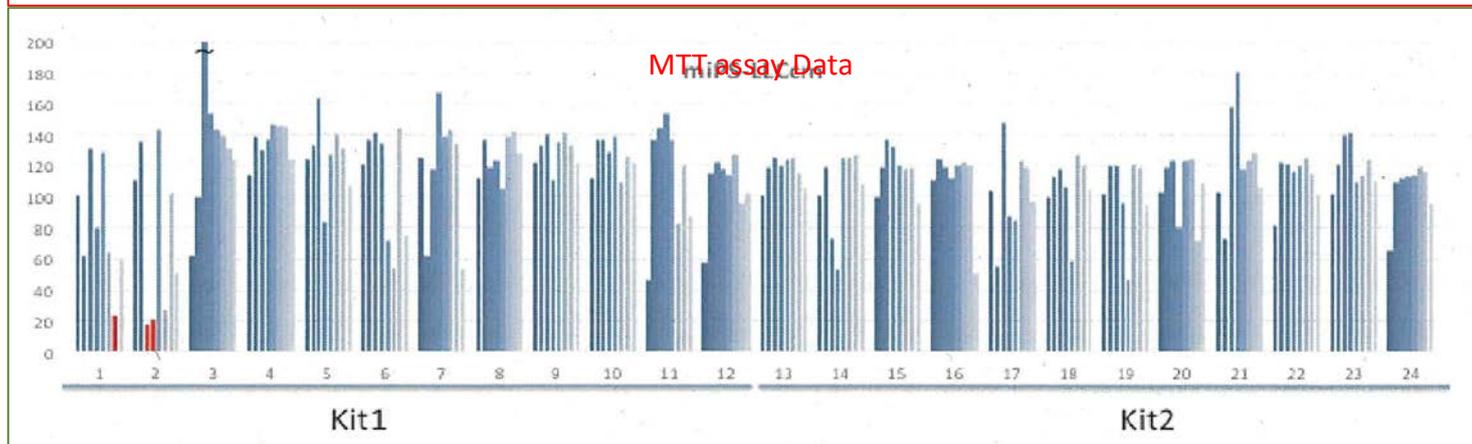
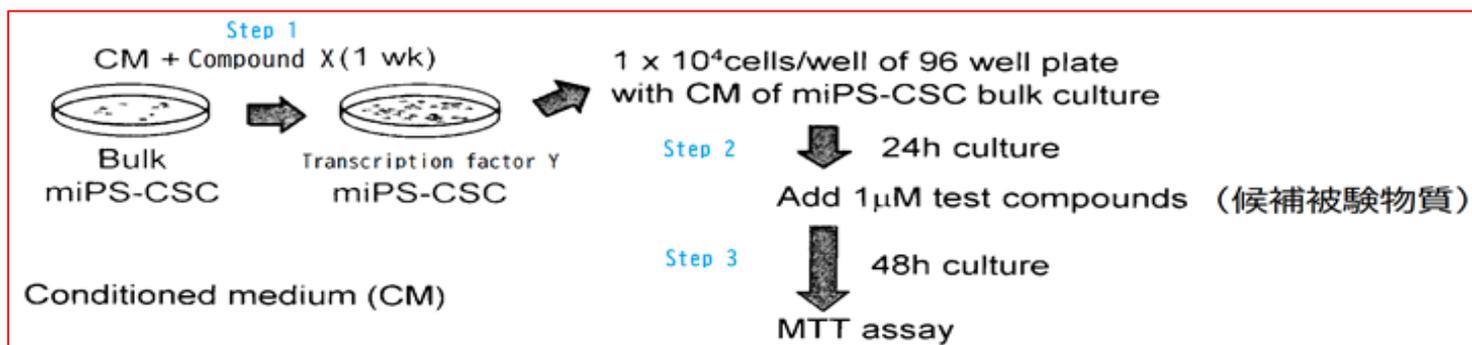
大学院ヘルスシステム統合科学研究科 教授 妹尾 昌治

制がん剤、抗がん剤、がん幹細胞、iPS細胞、スクリーニング

## 保有技術

本技術は、がん組織の中でも、がん幹細胞が転移や再発の大きな原因となっていることに鑑みなされた技術であり、このようながん幹細胞を指標とする新たな**制がん剤スクリーニング技術**に関するものである。前記がん幹細胞は、独自の手法により、**iPS細胞**から調製される。本技術によれば、多数の候補物質を網羅的に調べ、その中から所望の抗がん剤を迅速かつ容易にスクリーニングできるので、原発巣だけでなく、転移巣、再発巣に有効性を示し、かつ、多種様々ながん幹細胞に感受性を有する所望の制がん剤(抗がん剤)を**効率的に広くスクリーニング**できる。アッセイ系に用いるがん幹細胞の種類、それらを適宜組み合わせることにより、スクリーニング効率とその確度を更に向上できる。

## 制がん剤の候補物質のスクリーニング



## 特許情報

特許出願済み (未公開)

## 共同研究先への要望

企業様との共同研究を求めています。

岡山大学 研究推進機構 産学連携・知的財産本部

担当知的財産プロデューサー: 長佐古 治

Tel: 086-251-8472 E-mail: sangaku@okayama-u.ac.jp

<http://www.orpc.okayama-u.ac.jp/>

